

■江戸川区立大杉東小学校 第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
絵の具と水のハーモニー	絵	2	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。 ※筆や筆洗、パレットの使い方に慣れる。	☆ 知 筆の使い方や水の量を工夫しよう。	☆ 知 筆の動かし方や水の量を変えるなどを通して、あらわれる形や色などの感じがわかっている。	☆ 筆の動かし方や水の量を変えたりするなどいろいろ試しながら、あらわれる形や色などの感じがわかり、水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を積極的に工夫している。	絵の具、画用紙、水彩用具、新聞紙など
				思 絵の具遊びから、描きたいことを考えよう。	思 水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫している。		
				学 絵の具で描くことをたのしもう。	主 絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて、表したい感じを考えている。		
ふわふわ空気をつみ木	造形遊び	2	空気を入れたビニル袋の心地よさを味わいながら活動する。	知 袋の積み方やつなぎ方を工夫しよう。	知 膨らませたビニル袋をたくさんつくったり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっている。	☆ 膨らませたビニル袋の感触や心地よさを積極的に味わい、友達と協力したり場所に働きかけたりする活動をたのしもうとしている。	ビニル袋、セロハンテープなど
				思 袋を積んだりつないだりして、つくりたいものを考えよう。	思 膨らませたビニル袋の形や色、感触、活動する場所の感じをもとに、自分のイメージを広げながら、造形的な活動を思いついたり、新しく変化させたりしてどのように活動するかについて考えている。		
				☆ 学 空気の積み木のふわふわした心地よさをたのしもう。	☆ 主 膨らませたビニル袋の感触など心地よさを味わい、友達と協力してたのしもうとしている。		
ねん土ランドへようこそ	立体	2	友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくる。	知 粘土でできることを生かして表し方を工夫しよう。	知 粘土に触れたり動かししたりすることを通して、粘土でできる形などの感じがわかっている。	☆ 友達と活発に関わり合い協力しながら、粘土に働きかけ、関心をもって自他の感覚やイメージを共有しながら、「ねん土ランド」をつくることを積極的にたのしもうとしている。	土粘土、粘土板、粘土べら、タオルなど
				思 つくりながら、どんなねん土ランドができるか考えよう。	思 粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、どのような「ねん土ランド」ができそうか思いついたり、表し方などを考えたりしている。		
				☆ 学 友達と協力して、つくることをたのしもう。	☆ 主 友達と協力しながら、粘土に働きかけ、自他の感覚やイメージを共有しながら、「ねん土ランド」をつくることをたのしもうとしている。		
ふくろの中には、何が…	工作	4	身近材料を使って、紙袋の中に自分だけの世界をつくる。	知 いろいろな材料の使い方を工夫しよう。	知 いろいろな材料を見たり触れたり集めたりして、それぞれの形や色の感じがわかっている。	☆ 自分のイメージを豊かにもち、袋の中に表したい世界を具体的に思いつき、材料の特徴や袋の形を生かしながら表したいことを考えている。	紙袋、身近な材料、画用紙、はさみ、接着剤、カラーペン、絵の具、水彩用具など
				☆ 思 袋の中に広がる世界を考えよう。	☆ 思 自分のイメージをもち、袋の中に表したい世界を思いつき、材料や袋の形を生かしながら表すことを考えている。		
				学 いろいろな材料でつくることをたのしもう。	主 いろいろな材料で袋の中の世界をつくることをたのしもうとしている。		
ふしぎな乗りもの	絵	4	身近なものがどんな乗り物になったら面白いかな考えて、絵に表す。	知 形や色などの描き方を工夫しよう。	知 どのようなものが乗り物になったらたのしいかを考えながら、身近なものの形や色の感じがわかっている。	☆ 自分のイメージを豊かにもちながら、想像したことから思いついた不思議な乗り物やお話を意欲的に考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、水彩用具など
				☆ 思 不思議な乗り物やお話を考えよう。	☆ 思 自分のイメージをもちながら、想像したことから思いついた不思議な乗り物やお話を考えたりしている。		
				学 不思議な乗り物を描くことをたのしもう。	主 想像をふくらませながら、不思議な乗り物を描くことをたのしもうとしている。		

■江戸川区立大杉東小学校 第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
にじんで広がる色の世界	絵	4	白いクレヨンやパスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。	☆知 にじみでできる形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆知 クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかってい	☆クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかり、形や色の組み合わせを試したり変化させたりしながら工夫して自分の色の世界を表している。	絵の具、水彩用具、画用紙、色画用紙、クレヨン、パスなど
				思 にじみでできた形や色からお話を考えよう。	思 にじみでできた形や色の感じから、自分の色の世界のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、表し方を考えている。		
				学 にじみで表すことをたのしもう。	主 にじみを生かして自分の色の世界を表すことをたのしもうとしている。		
つかってたのしいカラフルねん土	工作	4	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくる。	☆知 たのしく使えるように、形や色の組み合わせ方を工夫しよう。	☆知 カラフルねん土をつくりながら、形や色の感じがわかってい	☆カラフルねん土をつくる中で、形や色の感じがわかり、粘土の扱いの経験なども生かしながら、形や色を工夫してよりよく効果的に表している。	軽量紙粘土、絵の具、空き容器、ビニル袋など
				思 カラフル粘土で、使ってたのしいものを考えよう。	思 カラフルねん土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。		
				学 カラフル粘土でつくすることをたのしもう。	主 カラフルねん土でつくすることをたのしもうとしている。		
光サンドイッチ	工作	4	色セロハンをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。	☆知 光と影の形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆知 光を通す材料を扱ったり触れたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかってい	☆光を通す材料を扱ったり触れたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかり、光や影を強く意識して、材料の形や色を何度も試したり、つくり方を考えたり組み合わせたりして工夫している。	片面段ボール、トレーシングペーパー、色セロハン、カッターナイフ、カッターマット、定規、はさみ、接着剤など
				思 光を通した材料からつくりたい飾りを考えよう。	思 光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに、表したい光の飾りを思いつき、どのように表すかについて考えている。		
				学 光を通した美しさをたのしもう。	主 光を通したときの材料や飾りの美しさをたのしもうとしている。		
でこぼこさん大集合	絵	4	凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表す。	☆知 版のつくり方や写し方を工夫しよう。	☆知 凹凸のあるさまざまな材料を集めたり、紙に写したりすることを通して、あらわれる形や色の感じがわかってい	☆版として使えるような凹凸のある材料を集め、紙に写すことを通して、あらわれる形や色の感じが深くわかり、いろいろな材料を組み合わせる版をつくったり、刷ったときの色の組み合わせや写し方を効果的に工夫したりしている。	身近な材料、厚紙、はさみ、接着剤、版画用紙、版画用具、ばれん、版画インク、新聞紙など
				思 「でこぼこさん」とそのお話を考えよう。	思 版をつくったり写したりしてイメージを広げ、「でこぼこさん」とそのお話を考えている。		
				学 版をつくったり、写したりすることをたのしもう。	主 でこぼこを組み合わせる版をつくったり、写したりすることをたのしもうとしている。		
トントンくぎ打ち、コンコンビー玉	工作	4	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。 ※金づちと釘の使い方に慣れる。	知 釘の打ち方や材料のつけ方を工夫しよう。	知 金づちを使って釘を打ったり、材料を付けたりしながら、形や色の感じがわかってい	☆友達と協力して、釘を打つ感触をたのしみながら、ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに強く関心をもつとともに、つくったコースで積極的に遊ぶことをたのしもうとしている。	板材、金づち、釘、ベンチ、ラジオペンチ、釘抜き、身近な材料、ビー玉など
				思 ビー玉が転がるたのしいコースを考えよう。	思 釘や金づちの扱いに慣れ親しみながら、材料のつけ方を工夫してコースをつくっている。		
				☆学 みんなで釘を打ち、つくったコースで遊ぼう。	☆主 釘打ちでできる、ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりし友達と協力して、針組みを意図的にめしめながら、ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに関心をもって、つくったコースで遊ぶことをたのしもうとしている。		
未来にタイムスリップ	絵	4	将来自分がなりたい夢を想像して絵に表す。	知 場面に合った表し方を工夫しよう。	知 夢をかなえた瞬間を思い浮かべたり、動きで表したりしながら、その場面に合ったポーズや形や色の感じがわかってい	☆将来の自分を豊かに想像し、夢をかなえた場面を具体的に思いつき、自分や周囲の様子などをどのように表すか積極的に考えている。	絵の具、水彩用具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、画用紙など
				☆思 夢をかなえた場面を考えよう。	☆思 将来の自分を想像し、夢をかなえた場面を思いつき、どのように描き表すかを考えている。		

■江戸川区立大杉東小学校 第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				学 自分の夢を表すことをたのしもう。	主 自分の夢を絵に表すことをたのしもうとしている。		

■江戸川区立大杉東小学校 第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
さわってわくわく	絵	2	身近な材料の触り心地を生かして貼り、絵に表す。	知 材料の組み合わせ方を工夫しよう。	知 材料に触ったり、見たりして、材料の形や色などの感じを捉えている。 材料に触れながら、形を変えたり、並べたり、組み合わせ方などを工夫して表している。	☆ いろいろな種類の材料の触り心地のよさや違いを繰り返し味わいながらたのしもうとしている。	画用紙、色画用紙、身近な材料、接着剤、はさみなど
				思 触った感じを生かして、表したいことを見つけよう。	思 触り心地から仲間分けをしたり並べたりしながら、表したいことを見つけ、どのように貼るかを考えている。		
				☆ 学 材料の触り心地のよさや違いをたのしもう。	☆ 主 材料の触り心地のよさや違いをたのしもうとしている。		
のこぎりひいてザク、ザク、ザク	工作	4	角材をたくさんのがざりで切り、木片を組み合わせでつくりたいものをつくる。 ※のがざりの使い方に慣れる。	☆ 知 のこぎりの使い方や木切れの組み合わせ方を工夫しよう。	☆ 知 のこぎり角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっていく。 のこぎりの扱いに慣れ親しみながら、どのようにのがざりを使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を工夫している。	☆ のこぎり角材を切ることから、いろいろな角材の形の感じがわかり、のこぎりの扱いに慣れ親しむとともに、どのようにのがざりを使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を繰り返し試しながら、表し方を工夫している。	角材、のがざり、紙やすり、接着剤など
				思 木切れから、つくりたいものを考えよう。	思 切ってきた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせで表していくかについて考えている。		
				学 のこぎり木を切ることをたのしもう。	主 木の感触に親しみながら、のがざりを使って角材を切ることをたのしもうとしている。		
線と線が集まって (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫して絵に表す。	☆ 知 線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫しよう。	☆ 知 たくさんの線を描いたり、色を塗ったりしながら、形や色などの感じがわかっていく。 自分が感じた形や色の面白さなどから、線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫している。	☆ たくさんの線を描いたり、色を塗ったりしながら形や色などの感じがわかり、描画材料や用具などを効果的に使い、自分が感じた形や色の面白さなどをもとに、線の組み合わせ方や色の塗り方を積極的に工夫している。	色鉛筆、カラーペン、画用紙、上質紙、定規、コンパス、厚紙、はさみなど
				思 線がつくる形から、描きたいことを考えよう。	思 線がつくる形や色などの感じから、自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、形の組み合わせや色の塗り方などを考えている。		
				学 線から生まれる形をたのしもう。	主 線の組み合わせで生まれる形を表すことをたのしもうとしている。		
みんなでオン・ステージ！	工作	4	空き箱と輪ゴムなどを使って弦楽器をつくり、みんなで演奏してたのしむ。	知 楽器の形や色、つくり方を工夫しよう。	知 空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっていく。 箱や角材などいろいろな材料や用具を使い、自分の表したい弦楽器に合わせて形や色、つくり方を工夫している。	☆ ささまざまな弦楽器に関心をもち、思いついた弦楽器をつくることや友達といっしょに演奏することを積極的にたのしもうとしている。	空き箱、角材、色画用紙、輪ゴム、身近な材料、はさみ、接着剤など
				思 どんな弦楽器にするか、考えよう。	思 輪ゴムのかけ方やネックの取り付け方、空き箱や容器の特徴から発想して、つくりたい弦楽器のイメージを広げ、どのように表していくかを考えている。		
				☆ 学 友達と一緒についたり、演奏したりすることをたのしもう。	☆ 主 弦楽器をつくることや友達といっしょに演奏することをたのしもうとしている。		